

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和 7 年度第 1 回宮古市立図書館協議会を次のとおり開催しました。

令和 7 年 1 0 月 2 7 日

宮古市立図書館協議会

- 1 開催日時
令和 7 年 1 0 月 1 5 日（水）午後 2 時から午後 3 時 2 0 分まで
- 2 開催場所
宮古市立図書館 2 階会議室
- 3 議 題
（ 1 ） 令和 6 年度宮古市立図書館の運営状況について
（ 2 ） 令和 7 年度宮古市立図書館の運営方針及び事業計画について
（ 3 ） その他
- 4 会議の概要
別添のとおり
- 5 問い合わせ先
宮古市立図書館 電話 6 2 - 2 4 1 4

第1回宮古市立図書館協議会

1 出席者（7名）

齊藤智彦、加藤敏子、新山麻理、三浦明美、外館織絵、戸由忍、小笠原孝雄

2 欠席者（0名）

なし

3 事務局出席者（5名）

教育長 伊藤晃二、教育部長 田代明博、生涯学習課長 佐々木雅明、
図書館長 佐々木勝利、副主幹 平井 純

4 傍聴者

なし

5 議事等

（1）令和6年度宮古市立図書館の運営状況について

令和6年度宮古市立図書館の事業実施状況等について事務局から説明し、質疑等を受けた。

（2）令和7年度宮古市立図書館の運営方針及び事業計画について

令和7年度宮古市立図書館の運営方針と事業計画等について事務局から説明し、質疑を受けた。

（3）その他

6 その他

開会前に、出席委員に辞令交付を行った。

委員長に齊藤智彦委員、副委員長に加藤敏子委員が互選された。

質疑応答内容

質疑・意見	回答
【議題】 (1)令和6年度宮古市立図書館の運営状況について (委員) 図書館利用者として、大変良い図書館だと思っている。あえて言えば、スタッフに笑顔があればもっと良くなると思う。(意見) (委員) ビブリオバトルについて、これはどのようなものか。 (委員) 県立図書館巡回展「おかし・いとおかし」は、1週間の開催期間で639人と多くの人を集めているが、何か要因はあるか。 (委員) ティーンズボイスでは、どのような意見があったか。 (委員) 利用状況について、登録者数、貸出者数など減少傾向にあるが、入館者数は増加している。図書館の努力が大きいと思うが何か要因はあるか。	(事務局) 昨年度（令和6年度）からの新規事業である。お勧めする1冊をみんなの前で書評し、投票によりチャンプ本を決定する書評合戦。 (事務局) お菓子をテーマにした巡回展。利用者のニーズが多いのは、料理本である。紙媒体でも電子媒体でも同じ傾向となっている。このことから、「食」をテーマとしたものは人気があるのでないかととらえている。 (事務局) R4～R6の3年間で行った事業。小学校高学年から高校生まで10代を対象に意見を募集した。お探しの本4件、おすすめの本1件、紹介POP2件、リクエスト9件、その他何でも1件で合計17件の投稿があった。 (事務局) 入館者については、R2～R3に「コロナ」の影響で大幅に減少した。その後少しずつ増えてきている。図書館としては、様々な取り組みと合わせ、情報発信に力を入れている。それも効果があったのではないかと考える。

【議題】 (2)令和7年度宮古市立図書館の運営方針及び事業計画について (委員) 「昔懐かし紙芝居が図書館にやってくる」の開催状況はどうだったか詳しく教えてほしい。 (委員) 私も紙芝居をやる機会がある。普段読み聞かせしていると、感情が入って本がぶれたりする。紙芝居は木の枠があって、その絵がぶれないので、やはり集中して見入る。今でも時々紙芝居はやっている。(意見) (委員) 保育の中では、3歳児に、実際、紙芝居を行っている。絵本に入る前段階として非常に良い。(意見) (委員) 備品購入費で購入した、放映権付きDVDは何を購入したのか。 (委員) 電子図書館について、毎月第2土曜日に説明会を行っているようだが、カウンターでも電子図書館の説明をしたり、宣伝したりしてもよいのではないか。	(事務局) 参加者は親子と高齢者、合わせて20人。皆さん、紙芝居に見入っていた。特に子供たちは集中して見ていた。紙芝居には惹きつけるものがあると感じた。紙芝居終了後にスタッフ手作りのお土産を差し上げた。 (事務局) 昨年度は、子ども映画会で放映するようなアニメ作品を購入した。今年度は防災に特化したアニメ作品を購入した。 (事務局) ご提言ありがとうございます。図書館にはレファレンスサービスという、利用者のわからないことをスタッフが手助けするサービスもあることから、カウンター対応できるか検討します。
---	---

(委員) 以前勤めていた久慈市では、電子図書館のことについて、図書館から学校に1週間くらい来て子どもたちに説明していた。宮古市でもそのように取り組んではどうか。 (委員) ぬいぐるみおとまり会について、詳しく教えてほしい。 (委員) 読書感想文コンクールは大事な事業だと思う。今、文字を書く機会が減ってきている。生成AIにより考えなくても文章が書ける時代。だからこそ、本を読んでその感想文を自分で書くことが大事と考える。しっかり取り組み願う。 (委員) 図書選定委員会の委員選考はどのようにしているか。	(事務局) ありがとうございます。学校の皆様と協力して取り組みできるよう検討します。 (事務局) お気に入りのぬいぐるみを図書館にお泊まりさせ、1週間以内に取りに来てもらう設定。閉館後にぬいぐるみが図書館で楽しんでいる姿を写真に撮り、後日ぬいぐるみを返すときにアルバムにしてプレゼントする。予定人員を超える参加者があったことから情報発信しながら継続して行いたい。 (事務局) 主催は学校の図書館協議会。市立図書館としても継続した協力を行っていく。 (委員長) 山口小学校が事務局となっていることから、私から説明します。市内の各学校から作品を募集し、それを審査し表彰している。入賞作品は岩手県組織へ上げている。年々参加者、応募が減少している。県組織とも連携しながら大事な事業として取り組みを継続する。 (事務局) 宮古市立図書館図書選定委員会設置要綱に基づいて委員選考している。委員構成は規定により、学校教育、社会教育の関係者、学識経験者等から選考している。
---	--

(委員) 図書館奉仕員はどのような方で、どのように選考しているか。 【議題】 (3)その他 (委員) 図書館の耐震化、施設設備の耐震化はできているのか。	(事務局) 図書館奉仕員は、市の会計年度任用職員で職名である。選考は、市の会計年度任用職員の選考方法に従って選考している。 (事務局) 図書館は耐震化されている。また、施設、設備に関しては、地震の際に本が書架から落下しないように感震式落下防止装置を設置するなど、耐震化が図られている。
--	--